

八都県市 ワークライフバランス推進企業事例集

八都県市 ワークライフバランス推進キャンペーン

埼玉県

千葉県

東京都

神奈川県

横浜市

川崎市

千葉市

さいたま市



はじめに

少子化の流れを変えるためには、特に父親が育児に積極的に関われるよう、ワークライフバランス（仕事と家庭生活の調和）を実現していくことが求められています。

子育て期の男性が長時間働いているなど共通の課題を抱える八都県市は、平成19～21年度の3年間、共同で「八都県市ワークライフバランス推進キャンペーン～変えてみよう働き方・パパ！子育てしてますか？」を実施しました。

この3年間、八都県市や国、民間では様々な形でワークライフバランスの推進を呼びかけ、多くの先進企業がそれぞれの風土に合った独自の取組を進めてまいりました。

八都県市では「今こそワークライフバランス」を広報テーマとして、経済情勢の厳しい今だからこそ「社員のやる気のアップと企業の発展の両方を目指す」ワークライフバランスを推進しようと訴えてきました。

八都県市のキャンペーンは21年度をもって終了いたしますが、ワークライフバランスの推進については引き続き各都県市が連携して働きかけを行ってまいります。

そこで、ワークライフバランスのさらなる推進に取り組もうとする企業関係者に御活用いただけるよう、この3年間の成果として、八都県市のワークライフバランス推進企業の事例集を別冊として発行することといたしました。

多くの企業の方々、とりわけ中小企業の関係者の方々にこの事例集を御活用いただき、仕事も生活も充実できる職場環境づくりに取り組んでいただければ幸いです。

終わりに、貴重な事例の公表に御協力いただいた企業の各位、並びにキャンペーンに御協力いただいた企業や、経済・労働団体をはじめ関係機関の各位に厚くお礼申し上げます。

平成22年4月

八都県市仕事と子育ての両立支援推進検討会
(埼玉県・東京都・千葉県・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市)

< 目次 >

I 今こそワークライフバランスを推進しよう

①八都県市ワークライフバランス共同アピール	1
②やってみよう！あなたのワークライフバランス度10問チェック	2
③みんなの疑問～ワークライフバランス10のQ&A	3
④まず出来るところから変えてみよう！～WLB一言宣言・実践アイデア～	4

II 八都県市ワークライフバランス推進企業

①不況期こそワークライフバランス推進を	6～9
渥美 由喜 (株)東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長	
②取組事例一覧表	10～13
③従業員数99人以下の企業等の事例	14～26
④ 〳 100人～299人以下	27～43
⑤ 〳 300人以上	44～67
⑥～⑬東京ワークライフバランス認定企業	68～88

III ワークライフバランス推進支援

①～⑥各都県市の支援施策	89～94
⑦八都県市関係窓口	95

「世の中の男性の皆さんへ、もっと子育てにかかわろう！」



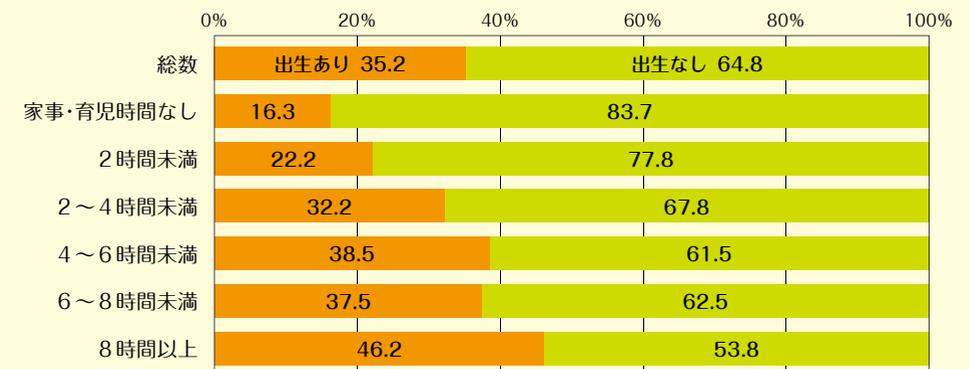
世の中の男性の皆さんへ

「もっと子育てにかかわろう!!」

父親の育児参加に関するデータ



① 夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高い



出典：厚生労働省「第6回21世紀成年者縦断調査結果の概況」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/judan/seinen09/kekka2-4.html>



② 6歳未満児を持つ男性の育児・家事関連時間



出典：内閣府「平成21年版少子化社会白書 P88」
http://www8.cao.go.jp/shoushi/whitepaper/w-2009/21pdfhonpen/pdf/b1_3_02.pdf

平成22年度版 八都県市ワークライフバランス推進企業事例集

【発行】 八都県市「仕事と子育ての両立支援推進検討会」(19～21年度)
(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市)

【事務局】 埼玉県福祉部少子化対策局少子政策課 (TEL 048-830-3343)

